東京城新聞

再び不言生に

寄書

廓 繪

不言生足下、予は足下の其所論に悲憤なる疑問を投ずること久しく堂々意見を披陳せられたるの勞をゝ多とすると共に又更に足下が抱持せらるゝ信念の窓固たるものあるを知りて、茲に再び足下に書を寄するに際し滿腔の敬意を致すもの也、

足下、姓氏は符號なりとの足下の說は可也然れども是等、姓氏已に符號なりとすれば「名」も又符號ならずんや、我 皇上も又御名は有らせらるゝにあらずや、而して此の御名あるが爲めに我 皇上の尊嚴に何の累ひする所ありや。

足下、予は足下が「我 陛下は姓氏を有し玉はざるが故に絕對的に在します」と云はれたるをこそ聊か牽强附會ところ申したれ日本天皇陛下を絕對的ならずとも、日本國の國體を特異ならずとも申したるにあらず予は假設我 皇にして姓氏を有し玉ふとするも我 皇上の無上絕對に在しますを信ずるもの也、我國體の萬國に冠絕する所以のものは豈に皇室姓氏の有無に在りて存せんや。試に見よ、予の愚然と云ひ、足下の不言生と號する、共に足下と予とを區別する符號たるのみ、更に之れに中村、若しくは源の姓氏を冠したりとて予と足下とに於て何の增減する所ありや。

足下、足下は予が足下に求めたる「神道」云々に付きては只予の三思を求められたる外具体的說明を得ざるを以て其疑義の開敎を乞ふに由なきを憾みとす。予は自ら其求道三昧に入らざる可らざる乎。

終りに臨みて一言せんに、足下の說く所の如くむば、社會主義も又宗敎と云ふを得べく、無政府主義も又宗敎と云ふを得べき乎記して以て答へられたるに聽へ、茲に本論を終へんとす。

不言生足下、健在なれ。

未墾地利用法實施後の狀況

中村農務局長談

韓國に於ける國有未墾地利用に就て官憲が許可し始めたるは近年のことで水輪院經理院等の許可は即ちそれである同時に宮家も亦利用を許可したのがある而して其の許可權が全く農商工部に移つたのは光武十年以來のことで宮內府令第四號（光武十年七月二十七日土地開墾に關するの件）の發布せられてからである而して其の年十月十六日に勅令第六十二號を以て各種認許の効力及び期限に關するの件を發布施行し請願あれば地方官に調査を命じ無主空閑の地にして外國人に干連交通なれば許可すべしとし且之に加ふるに數ケ條の認許條件を附したものである而して其の認許條件の主なるものは認許を受けたる日より一ケ年以內に起墾すべきこと猥りに與富權貴すべからざること外國人に轉與すべからざること等であつて此の時より許可の手續も稍々備はつて來たのであるが是等條件の遵守は到底事實に於て行はれ難かつた樣である今春來の官報に時々認許取消の告示のあるのは凡て此の累ひする所ありや。

當時に許可せしもので其の許可の條件に遵背したものゝみである

今更云ふ迄もなく韓國の草生地の內には草坪主と稱する一種の權利者があることは既に一般の知悉する通りで個人若くは一部落にて永年占有の事實あるものには新舊文記或は完文を有して居るものもある殊に草生地の如きは森林に乏しき彰驛よりして之に牛育せる草を燃料に供するの習慣ありて一層其の所在部落に密接の關係を有して居るのである然るに此等の事實如何を確めず漫然利用許可を與へたる結果は草坪主の告訴となり關係部落の反抗となり利用者も多少の投資を顧みず自ら斷念した者もあれば或は許可を取消されて莫大の損害を被つた者も少くない是等の事實は遂に國有未墾地利用法の發布を催促し昨年九月十五日に之が施行を見るに至つたので爾來早や茲に滿一ケ年を經過したるが同法實施後の狀況に就ては大に世間の注目を受けて居るのであるから愛に其の概要を述べよふ

國有未墾地利用法の發布に伴ひ農商工部內に國有未墾地事務局を設くることゝなり同法施行と共に事務を開始したるが局員の採用と事務執行上の準備に殆んど二ケ月を費し請願地の踏査に着手したるは漸く十一月下旬であつた夫から官制の改正に依り國有未墾地事務局は廢せられ農務局に國有未墾地課を置かるゝことになつたのであるが爾來請願者は日に絕へざるの盛況で其の統計は次の通りである

貸付件數 九百七十一
請願面積 八万五百七十町四畝廿六歩
認許請願件數 七一二
面積 九千百十六町七反三畝九歩
計 件數 一千四十三
面積 八万七千百十三町七反八畝五歩
（未完）

讀者文壇

寄宿舍の記（四）

かへで生

秋風冷ゑ朝よ。

中庭の窓際に立てり、四坪ばかりの土間に六株の木槿へたる單純なる庭、楓未だ紅ならず、小さな柘榴の木に實七つなりしが何れも黃ばみたる中に、バット紅らせしさま甘そうなり、摘んで見ばやと思へり。

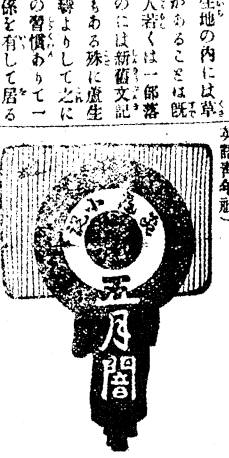
夜五時に歸る。

アイ君、頻りに出ては入り、入りては出で忙はしそうなり、鑄て小さきブックを手にして、飛び出せり。

根に凭れて徒然に苦しむ「ああ、時機を待つてことよ」△△號室なり、實にや時は維新之に加ふるに數ケ條の認許條件を附したれ運なり、維れ命なり、吾同胞三十八人、廈堂に入つて國政を握るの日、それ豈に遠からずや、サテもかへで內閣成立すと、號外八宏に飛ぶの日そも今何れの世ぞ、吾同胞よ進んでチャンスを捕まへよ、チャンスは、成功の母なりと思ひ浮びぬ。（卅日夜）

新刊紹介

●英語青年 記事林檎青年向きに出來上れり中に短篇小說「戀の出世」は極めて面白く受驗參考欄も亦大に青年者の參考となるべし（一部七錢二十卷一號東京本郷丸山新町英語青年社）



（三十五）

河合柳亭

今しも山川が宅の奧坐敷で、風を扇に招きながら密に語らひ居るは御室雅敎と山川宗匠である。

雅敎は疑惑の眼を瞬りながら、

「何より先に開かなきやならんのは、昨日の美人だが、彼女は全く君の妹かね。」

山川は微笑しながら、

「全く妹ですよ、まだ此間故國から參つたばかりですから、御存じない理でございます」

「どうも君は獨身の理で、那麼美しい妹なんかないと思つて居たのに、突然坐敷に出て來たから、奈何した女であらうと不思議で堪らなかつた。」

「美しいなんと有仰られては面目次第もございません、どうせ私のようなものゝ妹でございますから、へゝゝ、」

「イヤ全く美人で、あれ程の美人は本場の京にも惡くない。」

「どうも太く御賞に預りまして有難う存じます、へゝゝ、」

時に侯爵は如何遊ばしました、所詮伺候致さうかと存じて居つた所でございます」

「どうも非常の滿足で、病氣も何も治つたやうだと喜んで居たのだ、ところが今日宿に仕つて見ると非常な病氣に罹つて、昨夜は一睡もしなかつたさうだ。」

山川も驚きの眼を瞬つて、

「非常な御病氣、どうた惡いのでございます」

「私が今君の宅に來たのも、其病氣に就いて相談に來たのだ。」

山川は作戰計畫の腦に的つたかと、心に喜びつゝ然あらぬ体で、

「侯爵の御病氣に就て私に御相談、それは一体奈何云ふ話でございます。」

「奈何云ふ話と云つて、到頭君の脚色だ筋書通首尾よく序幕が開きそうだわい、なる程君は芝居を作る事は巧いもんだ、私は昨夜は何の氣も付かなかつたが、今日になつて漸く君の狂言が解つた。

まあ聞いて下れ惡う云ふ理さ、實は昨夜の僅が例の一件の序幕だと言ふ君の談話もあつたに、私の目には少しも然う云ふ反響が見ねなかつたのだ、あまりに無意味のやうに感じたから、今日は左に右君に會つて何か結果を奏したか聞いて見やうと思つて出掛けたのだ、ところで先づ兄の宿を尋ねて何か異狀はないか觀察してからにしやうと、中村樓を尋ねて見たのちや、すると豈計らんや家扶の大山が出迎へて、私を別室に通して云ふには、兄が昨夜から病氣に罹つて夜一夜寢も爲なかつたと云ふ話、然う俄に惡くなつたのは奈何云ふ理かと段々樣子を質して見ると、其の病氣と云ふのが、癇癪ちやないか、戀病と云ふのだ何處の誰とは云ふまでもなく、聞くまでもなく君の妹さんだ、其處で私も始めてハテ、これが所謂御家騷動の序幕だなと、氣が付いて君の手腕に感服したのだ。

ところで兄が妹さんを是非にと云ふので、君に私は其の調停委員に頼まれて來た理さ奈何でわらう、無論君の脚色も惡うなる積りであつたらうとは思ふが、妹さんを兄の望み通りにして遣つて下れないかね。」

と、山川の顏を見やつた。

廣告

りん病全滅

▲絕望の淵に沈める淋疾患者に替く光明▲完全なる最新藥の出現と驚く可き効驗▲

男子が淋病を輕微なる疾病なりと誤認して放任したる結果、病毒は漸次血液中に進軍して幾多の續發症を起し、遂に內臟を犯すに至り猶ほ恐るべき塊血症、澁毒症の如き狀態を現じて、果ては貴重なる生命を失ふに至るべし故にりん病患者は一刻も早く淋球を服用して怖るべき病源を根治せらるべし

帝國醫科大學實驗

內用淋球

價三日量平錢七日量一圓廿八日量二圓五十錢

婦人の痲疾（せうかち）に至りては男子よりも一層危險甚く、深く家庭の奧に潛伏せる病毒の禍害は覓角婦人の羞恥心の爲に蔽はれて、應急の治療を怠る爲に、救ふべからざる生殖器諸病を續發して遂に斃るゝに至るは往々世上に見る處なり淋球の驚く可き効驗は是等悲慘なる淑女を救ふて餘ある可し

故に淋病患者は輕症たりとも寸時も忽にせず、直に淋球を服用して恐るべき淋毒の擴殖を未然に防ぎ、永く家庭の和樂を保護し給へ

本舗 大阪堂島蜆橋
高橋盛大堂藥局
仁川本町 新井藥房
電話一六一番
特約店 京城本町 新井藥房支店
電話四七八番

龍山新梨太院（新道路に沿）右土地は兵營並官舍に接し且西氷庫、判官街道の交叉點なると京龍へ往來の國道なるを以て將來必須の要地至極割安に賣附す

貸地 參千坪

京城古市町 電話八八八番 小縣四一

京城本町二丁目三丁目

辻屋

本店 電話一四八番
支店 電話三六六番

シガレット・ブランデイー・洋菓子・果物カン詰類・水酒・ビール・タンサン・キリン・シャンピン・ウヰスキー

卸小賣

歌米類 洋酒食料品 洋煙草類 瑞金屬美術品

直輸入商

人事部

●敎屋度 年齡三十朝鮮語に堪能熟練の者にて普通敎育ある者 姓名在社（四一）

●求職 年齡卅歲中等敎育を受たる男子會社の事務員及商店の記帳方に雇れたし傳通勤にても宜し宿にても宜し 姓名在社（四二）

●質素なる家庭に疊二三枚若しくはオルガン一間借り受け家族同等の待遇にて下宿したし 姓名在社（四三）

●敎屋度 旅館料理店又は商店の帳場に雇はれ度し其他余り勞力を要せぬ事向にて宜し保證人あり 姓名在社（四四）

●普通學敎師を雇ひ 某專門學校出身者年前中或は夜間學校敎師を雇ひ就中英語語學に通ずる 姓名在社（四五）

●年二十四敎育有簿記精通商店經驗有午後自四時朝九時迄執務如何を不問就職し度し可成家庭的書生等望 姓名在社（四六）

●敎屋度 年廿三才にして書通敎育有商業の經驗も有會社又は通勤商店に雇れたし 姓名在社（五〇）

●敎屋度 中等敎育あり商店又は會社等に雇はれたし 姓名在社（五一）

●敎屋度 簿記學全科を修め銀行業に從事せし事十年銀行會社に雇はれたし 姓名在社（五二）

●女雇入 察家普通十四才以上廿六歲以下女至急入用、依望、學問及琴曲を習得せしむ、給料面談、南山町三の九六琴曲教場伊藤 姓名在社（五三）

毎日曜日を除き毎夜午後八時より懸賞に其語を敎授す月謝壹圓東條を要せず 英學塾（五四）

●新開社の校正係又は外交員をお望年三十五元刑事且つ活版印業に經驗ある者 姓名在社（五八）

長崎縣早岐生の山田太平氏に至急面會したし直ぐに住所を知らせ 鐘賀なる家庭の內に下女雇 氏名在社（六五）

●奉公望 本年二十八日收入十圓也正作業十八九の良家の淑女と結婚したし 氏名在社（六七）

●求婚 十二日午前十時前後來社ありたし

松田藤太郎君に面識したし十日（差支あらば紹介保証）

物件部

●雲母產地 至急買入たし 氏名在社（六六）

●借地 明治町三丁目憲兵隊附近にて二十坪餘の貸地を求む（但東通にて可）京城本町五丁目 吉田博次（三八）

●從來開業中の歲末然錄國の不拂已に付整理に至急讓渡したし 氏名在社（四七）

●古本 買入れたし 本町七丁目 秋田屋（四九）

●蓄音機 讓たし但附屬品付二個あり 社內 坂

電話

至急買たし

●貸地 古市町韓國畜產株式會社近傍約六一坪 古市町九番戶小縣（五四）

●旭町一丁目通溫突十五間地所附（但七十坪）安價に讓りたし 姓名在社（六一）

●貸家

六疊二間四疊一間永樂一高燥にて井水潔 氏名在社（六二）

本橋人事部に御答申すオンドル一間疊貳枚敷餘り庭園尤雅にして閑靜詳細は御來談を乞永樂町佛國敎會裏山田（六三）

古着道具買たし本町七丁目一六觀賞（六四）

●外交係入用 市內保證人あるもの本人直接來談を乞ふ 南山町二の一七三農商工組合事務所（六七）

●弟子入用 但し十四五歲のもの 氏名在社（六八）

●貸地 旭町一丁目の山の手にて眺景絕佳の土地家屋附にて賣りたし御方は御來談を乞ふ 姓名在社（七〇）

▲流行の▲新柄及び地帯あげ其他種々

取揃へ店頭へ陳列致置候

來御散歩間御觀枝下度候

京城浦治町一・一丁目　金子德商店

東城新聞

地方行政難

宋内相の巡視中止

伊藤統監が地方行政の改善に着手せらるゝや、各道に邦人道書記官を配置し、觀察使の更迭を行ひ、郡守の撰擇を觀察使に委任する等巧に捨名取實主義の効蹟を發現せしめんとせられしも、裁決權を掌握せる觀察使にして韓人たるに於ては、到底其理想は實行せらるゝものに非ず、故に余輩は屢々觀察使に有爲の日本人を採用せよ然らざれば改善の實を擧ぐる能はずと警告したりき然るに當局者は更に反省することなく往年歲月を經過せり、果して其結果は如何、地方行政は依然として更に面目を革むることなく、郡守任命の如きは驚嘗百出し、暴徒の跋扈は依然として鎮靜せず、人民は全く新政の恩澤に浴することなく、怨嗟の聲は中央に迄反響し來れり、斯る姑息の手段にては改善の實を擧ぐる能はざるは素より至當の事たるなり、數百年來浸潤せる弊政か斯る姑息の施設により改善せらるべしと思へるが抑も誤謬たるなり、積年の腐敗弊政を改善せんとならば格段なる英斷を要するなり、何れの國の歴史を見るも姑息手段に依りて革清改善を遂行せるものなし、此見易き理由を解せざる當局者の迂遠亦驚くに堪へたり、

然るに頃者當局者も茲に警醒する所ありてか、地方行政の改善を盛せしか、觀察使の下に日本人の副觀察使を配置するの案を立て、或は郡に日本人の小官吏を配置することを提案し、觀察權を觀察使に委ねたるが如き種々に改善策を講せらるゝが如しと雖も等しく姑息的立案のみ、當局者は何故に姑息手段のみ案出して根本に向て革新的立案をなさゞるや、斯の如くにして姑息彌縫を事とするの政策は唯失敗を重ねるのみ地方行政に就て最も責任ある内部大臣宋秉畯の如きは就任の當時より地方巡視を聲言したるも、種々なる理由を付して之を延期し今に其聲言を實行せず、聞く處に依れば地方巡視は全く中止せりと云ふ、地方行政の監督者たる内部大臣にして斯の如くにては到底改善の如きは思ひも寄らず、保護指導の統監が之を傍觀するに至りては何更に呆然たらざるを得ず、各道より二三の東拓委員を撰抜して旅費を給し、日本に派遣し日本の文明を觀測せしめ之が地方に歸て日本の眞意及文明を語らしめて、地方の人心を融和し併て新政を謳歌せしめんとするが如き拙策は到底効を奏するものに非ず、韓國人は耕育を見るも巴里を見るも倫敦を見るも驚くものに非ず、渠等の眼孔は微頭徹尾猜疑的なり、口には諛辭を喋々すれども其實美的方面よりも暗黒面を見る日本に在留したる韓人が多く排日行動をなすも之が爲なり、然るに此等を利用して地方人民を悅服せしめんとするは全く徒勞なり、當局者にして眞に地方行政の改善をなさんとすれば根本的斷行をなさゞる可らず、暴徒蜂起以來既に年餘に亘り今尚は鎮定せず、或方面は近時益々猖獗を極めつゝあり地方の狀態は眞に暗憺たるものなり、地方行政を改善し、人民を安んぜしむるは此際の急務なり、當局者は改善に就て何事を策しつゝありや、姑息的彌縫は更に失敗を重ねるのみ、余輩は深く當局者の猛省を促さんとするものなり、

桑港電報

▲布哇の排日論

布哇の商業會議所長は桑港に於て日本人が布哇に居留するは危險に付制限せざる可らずと論ずり（八日東京經由）

東京電報

▲日韓瓦斯役員渡韓

日韓瓦斯會社取締役高松豐吉氏は技師を從へ工場建築設計のため渡韓す

▲馬政局長官交迭

曾禰馬政局長官依願免官となり其の後任者は寺内正毅氏に決定せり

▲曾禰子歸來說

曾禰副統監馬券問題に就き歸來すとの說あるも當局者は事實無根として打消し居れり

▲拓殖定欵の發表

東洋拓殖株式會社定欵今日發表せらる内容は既報の如し

▲東亞同文館へ賜金

天皇陛下には東亞同文館が創立以來多數の留學生を養成したる趣きを聞召され金二千圓下賜せられたり

榎本子危篤

榎本子の容体惡しく恢復の望みなし（以上八日發）

▲國恥會の解散

廣東にてボイコットを煽動したる國恥會は解散せり（八日發）

▲改正準備委員會規定

條約改正準備委員會規定公布せられ昨日より施行さる

▲爲政方針協議

本日閣議を開き今后の馬政方針に就き協議せり

▲獨探現はる

過般總撰擧に落撰したる前代議士にして獨逸の高等探偵たるものあり又他にも十三名の獨探發生せりとの事なり（九日發）

雜報

●師團司令部出發期

今回歸國する事となりたる十三師團司令部は愈々本月廿八日出發する事に決定せりと云ふ

●統監の大磯行

伊藤統監は昨日大磯に赴く旨長官へ電報ありたり

坂谷男來京日程

坂谷男爵は來る十四日平壤を出發し途中開城を視察し同日着京二四日滯在の由尚は十五日は度支部建築所麻浦煉瓦製造所を視察し後度支部次官郎の園遊會に臨み十六日は景福宮及德城財務監督局園遊會に臨ませる豫定なる旨度支部に通報ありたり

●曾禰副統監の晩餐會

曾禰副統監は今回入京したる鍋島侯爵息女同夫人坂谷男等を主賓として來る十五日午後六時統監邸に晩餐會を催し各大臣次官及び日韓文武官の重なる人三十餘名を招待すと

●韓國側の歸還師團送別會

韓國に四年間駐屯し暴徒の討伐其他鎮國の秩序維持に多大の功勞ありたる第十三師團の歸還期日既に眼前に迫りしを以て韓國内閣に於ては近く景福宮内處會樓に於て盛大なる送別會を催す筈にて目下準備中なりと

●拓殖會社定欵（續）

第廿四條　株券の種類を變更せんとする者は其の株券に請求書を添付して提出すべし

第廿五條　株券の名義書換新株券の交付及株券種類の變更に對しては本會社の定むる手數料を徴收す

第二十六條　本會社の定時株主總會前三十日を超過せざる期間株式讓渡に關する株式の名義書控へを停止す

第三章

第廿七條　定時總會は毎年五月臨時總會は總裁又は幹事が必要と認むる時及總株數十分の一以上に當る株主が總會の目的及招集の理由を記載せる書面を提出して總會の招集を請求する時總裁此を招集す但株主が總會招集を請求したる場合に在て總裁は十四日以前に招集の手續をなす

第廿八條　總會の議事に關する通知は目的及事項の外に涉るを得ず

第廿九條　總會の日時及び場所は總裁此れを定め十四日前に各株主に其の通知を發するものとす

第三十條　總會の議長の職務は總裁此を行ふ但し總裁缺員の時又は事故有る時は副總裁此れを行ふ

第三十一條　各株主の議決權は其の所有株數一株に對し一個とす但し二千株以上は毎二十株に一個を增加す

第卅二條　株主は其の議決權の行使を他の出席株主に委託することを得其の委任狀は本會社に提出すべし

第卅三條　總會の議長は株主の資格亦は其の議決權を行使するも妨げ無し

第卅四條　總會の決議は商法に特別の定める場合を除くの外出席株主議決權の過半數に此れを行ひ可否同數なる時は議長の裁決に依る

第卅五條　總會議事の要領は總會決議錄に記載したる後議長は總會に出席したる重役と共に記名調印すべし

第卅六條　總會の議長は會議を延期し會場を變更することを得但し延期會議の議事は前會議に議了せざる事項の外に涉るを得ず

第四章　役員

第卅七條　本會社に總裁一人副總裁二人理事四人以上監事三人以上を置く

第卅八條　總裁は會社を代表し其の業務を總理す

副總裁は總裁を補助して會社の業務を分掌す

監事は會社の業務を監査す

第卅九條　總裁は日本人とし日本國政府此れを任命す

副總裁は其の一人を日本人とし日本國政府此れを任命し他の一人は韓國人として韓國政府此れを任命す

理事及び監事は其の員數中少くとも三分二を日本人とし其の他を韓國人とす

理事は株主總會にて五十株以上を所有する株主中より此れを撰擧す

監事は株主總會にて五十株以上を所有する株主中より各一二倍の候補者を選定し日韓兩國政府各其の中にて其の國人中より此れを任命す

監事は株主總會にて三十株以上を有する株主中より此れを撰擧す

總裁副總裁及び理事の任期は五年間とし監事の任期は二年間とす

第四十條　毎年の總裁副總裁及び理事に支給する報酬金は左の如く此れを定む

一總裁　金六千圓

一副總裁　金六千圓

一理事　二級三千五百圓

二級三千五百圓

監事の報酬金は株主總會の決議にて此れを定む總裁副總裁及び理事に對しては手當金を支給する事を得其の金額は日韓兩國政府此れを定む

第四十一條　理事は在任期中其の所有株式五十株を監事に任置すべし但し此の株式は退任の時株主總會にて其の在任中處理したる事務を承認したる後に非ざれば此れを還付せず

（完）

●京龍間の往復列車

軍司令部移轉と同時に京龍間の往復繁くなりたるを以て旅客の便利を圖り來る十一日より當分の内西大門、龍山間に於て左記時刻により臨時旅客列車を運轉することゝなれり

南大門發

午前九時十五分

午後三時五十分

午前十一時五十六分

午後九時四十五分

龍山發

午後四時十五分

午前十時

南大門着

十時六分

龍山着

九時二十一分

三時四十六分

十一時五十六分

九時五十一分

西大門着

四時二十一分

●枉峴停車場移轉

豫て工事中なりし枉峴假停車場は此程竣成せしに付來る十二日より新築停車場に移轉すと云ふ

●定期乘車券發賣

鐵道管理局にては軍人に限り八日より定期乘車券を左の如く發賣す

一等　一ケ月　三圓七十五錢

二等　一ケ月　一圓七十五錢

三等　一ケ月　一圓五十錢

豫定の如く一昨日南大門外なる舊東美倉庫會社跡に出張所を設置し場合によりては倉庫業主も兼營する目的にて目下度支部大臣に認可申請中なるが近日認可せらるゝ筈にて認可の上は直ちに開店すべしと

●第十三師團招魂祭彙報

本日麗陽宮に於て擧行せらるべき同師團招魂祭に就て聞く所を掲げんに

△祭壇は陸軍式　招魂祭は神道或は佛式に據らず戰地に於ける招魂祭と同じく師團長祭主となりて祭文を朗讀し次ぎに軍隊の敬禮を拜者學校住徒の參拜の順序とす

△招魂さるゝ戰病死者　招魂祭に祭らるゝ戰病死者は同師團が出征以來の總數にして本日迄の合計三百二十七名なり

△遺族へ寫眞與　戰病死者遺族の參列は祭主の希望する處なるも何れも内地に在る人々なれば別項有志者より寄贈の金員にて當日の光景を寫眞に撮らしめ一枚宛遺族に贈與すと

△來賓　當日來賓として案内狀を發したるは五百餘通なれば此れに陸軍側を加ふれば頗る盛況なるべし

△餘興　當日の餘興の重なるものは乘馬旗取競爭、綱引、統剣術、集合任合、砲兵の發砲競爭、駒繰等なり

△來賓と一般觀覽者　來賓として案内を受けたる人々は當日本門興化門より入り一般觀覽者は西大門に近き小門よりする事と定めたりと

△有志者の金品寄贈　有志者より招魂祭へ金品の寄贈をなしたる者左の如くなるが此の金員は別項記載の如く遺族に贈るべき當日の光景の寫眞撮影費に當て殘金は遺族に分送する事とし物品は守備隊、憲兵隊、警察隊に分配する事とせり

金百圓　京城日本人居留民團

金五十圓　仁川日本人居留民團

金十圓　三浦京城理事官

麥酒三箱　大日本麥酒株式會社

清酒一樽　千歳清酒株式會社中田宗二

●奬忠壇の招魂祭

昨日午前十一時より奬忠壇に於て韓國軍部の招魂祭あり各大臣次官其の他の文武官參拜せり

●討伐彙報

全羅北道淳昌守備隊の上等兵以下五憲兵三巡査二は十月四日淳昌の北方三里にして賊約七十を夜襲し其四十三を殪し銃器二十七雜品多數を鹵獲す

●木内次官　木内農商工部次官は今晩南大門着にて歸城すべし

●長濱關稅總長の歸任　上京中なりし長濱關稅總長は昨夜八時三十分南大門着列車にて歸任す

●英將の餅店行

滿韓視察の爲來韓せし英國陸軍中將クロートヲート氏は一昨日餅店に赴けり

●學部大臣の歸期　南韓地方巡視中なる學部大臣の一行は一昨日木浦を發し滬船にて馬山に向ひたる由にて同地より滬車にて本日或は明日歸京し一二日滯京の上再び平壤地方に出張する筈なり

●工藤技師の視察　昨日鐵道路技師工藤工學士は仁川海陸連絡狀況等を視察し仁川有志の午餐會に臨めり

●岡部長の出發

岡部長官は二三日の豫定を以て八日新義州方面視察の爲出張せり

●石原技師一行歸京　成鏡道より開り地鳥方に出張中なりし石原學部技師柳田同事務官金書記官の一行は一昨夜歸京せり

●足立支店長へ榮轉　釜山十八銀行家店長に榮轉せる足立龍次郎氏に對し仁川居留民團より贈格二百圓の花瓶一對を送るとに決したりと云ふ

公人私人

▲島田文之助氏（平安北道警察部長）は一昨日新義州へ向け歸任

▲吉村八十三氏（陸軍省參事官）來京中なり

▲田上荒太郎氏（第六師團軍醫）は一昨日安東縣へ向へり

▲橋本濟十郎氏（第六師團一等軍醫）は一昨日來京浦尾旅館

▲山根正次氏（山口縣選出代議士）一昨日來京天眞樓

●近事片々

▲漢城政界も此頃一寸靜穩なりしが森々暗流横溢し來れる携機あり前途の形勢如何

▲完用内閣には大分倦色あり比較的長持したれば最早倦怠して驚き始む是十八番也

▲金允植を中心として大韓協會亡命團隊の聯結運動は未少注目するに足る形勢なり

▲完用乘暇を中心とせる現内閣何時迄持續すべき乎伊公の歸任迄平更に持續する乎

▲金允植貞澤金嘉鎭等の聯合の勢力と完用寒陵等の智謀と何れが勝を制すべき乎

▲大同會は治安妨害ありと認められ解散せらる宋内相は全く治安妨害と認めたる乎

▲大同會は一進會及大韓協會の如く余政治上に關係せざるに何れの點が惡しきや

▲韓國の結社は何れも有害無益の如くなれど唯片手落の所置は甚だ宜しからざる也

▲内閣彈劾や種々騷ぎ廻る一進會も大韓協會も同時に解散を命ずること至當ならん

▲京城民團議員の撰擧も無事に濟みたり結果は同盟派十五名革新派五名勝敗歷然也

▲革新派の奔走も漸くに五名を選出したるに止る之に依て兩派の勢力分明也

▲民長官選撤廢期成同盟會は豫期の如く多數の當選者を出す愈々活動は始り來らん

▲競爭の烈しかりし割合に至極穩に選擧を了したるは居留民の品位を高めたる觀有り

▲統監府は此選擧の結果を如何に見しか官選合反對の輿論を看取すること能はざるべし

▲居留地一般は官撰反對の爲に辭職したる勸議員を信任したり之れ再撰者多き所以也

▲廿人撰出の中十五人は僅に官撰令に絕對反對者なり統監府尙聚論に非ずと云ふか

▲曾禰子馬政局長官を辭せりと之れ當然の次第金体秉務は其職に忍なる能はざる也

▲外に曾禰子は馬券禁止に反對の一人也と云へば何更に辭職するが當然なる所當也

▲清國政府小村の外相たるを喜ぶと對清策の刷新に好都合也小村外相大に奮ふべし

▲清國にては警政を擴張し先づ銀本位制を採り漸次金本位となすの準備なりと云ふ

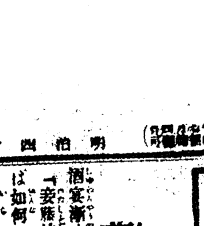
▲墨國は「ルッコゴヴナ」及「ポスニア」併合を發表せり獨露は傍觀佛英は反對の氣味

▲兎に角墨國の勇氣は感むべし帝國の對韓政策を顧み何となく長息に堪へられぬ

▲獨逸雜誌上にクリノスギー氏の亞細亞拋棄論掲載或の可否は措て頗る痛快也と

▲英國は亞弗利加經營に專念し亞細亞は日露兩國に任ずべしと其に公平なる論議也

明治四十一年十月十日（土曜日）第八十三號 東城新聞



舊友

短篇小說

（九）

青楓作

酒宴漸く酣なる頃、雪子は口を開いた。

「妾藤枝さんを訪問しました時、藤枝さんは如何に御喜びでせう、雪子さん本統によく入來しつてね、と貴夫下にもれかない有様なんでせう、それからだん〳〵と御話を伺つて見ますと、藤枝さんの獨居生活なさるに至つたのは、別に自ら信仰のれありなさるんではなく、猶且、細田樣、貴君のれためなんですつて。」

雪子は細田の顏をツッと見るのであつた。

「藤枝さんは、アノ僕のために獨居生活」

細田は驚きの眼を睜つた。

「ハイ、藤枝さんが、貴郎に御別れなすつてから、俄に此世を悲觀なされて、うれで遂々獨身主義者になられたのだそうですよ」

慶然、一日も貴郎を忘れる事が出來ず、如何かして、もう一度れ逢ひ申したいとね、それは〳〵、隨分御心配なされたそうで御座ますよ。」

「ウム、うれほど細田君を思ひ込んで居るのか、可愛想じや。」

村田は、シガーを燃らし乍ら呟んだ、細田は之には別に應答を試みようともせず、たゞ默して居るのである。雪子は再び細田にしてよく透つた聲で話を繼ぐのである。

「併しね、不運にも七年の今日まで、細田樣に逢ふことも出來ず、そればかりで在所も解らないので、妾如何なに煩悶したか知れないわ、此の儘細田樣に御逝びも致さず終るやうでは、と、うれやこいやが原因でこんな病氣に取りつかれたのだとね、あの凉しい眼元に涙を浮べての物語りなんですものの、妾は、自分が滿足な生活を送つて居るにつけても、吾が友はなせ斯も逆境に沈淪して居らるゝのだらうと思はれてね、本統に恐しくつて泣きましたわ。」

「それは、一つ學校で育つた其許としては道理じや、實際私でさへも、同情に堪ねんのだからな。」

村田は、細田の顏を打ち眺めて居たが

「細田君い、君はそうは思はんか、薄命の女子が生涯に、同情の涙をもたんか、況けては相互に戀ひ慕つたと云ふ仲ぢやないかなア」

さなきだに、忽ち感ゆるは細田の血管である村田の此の一言は、其の默せる細田の胸裡に、少なからず、鼓動の波を昂からしめたのである。

「本統ですわね細田淡、藤枝さんの運命は、皆んな貴郎が握つて被爲居るんですよ」

雪子は、夫のあとについて、斯ふ言つたが夫は暗に細田に答を促したのであつた、ただ機に逢ふことも出來ず、そればかりでなく、獨居生活なさるに至つたのは、別に自ら信仰のれありなさるんではなく、猶且、細田樣、貴君のれ妾如何しませうと云つて、泣くので御座いますよ」

「アノ藤枝さんが」

濱々として、攻め來る血潮をグッと押へに押へて細田は、ハヤ堪へかねて叫んだのである。

●一昨夜の民團役所

京城民會議員撰擧投票は一昨日午後二時無事に終了したるを以て撰擧掛長及び立會人等一同列席の上開票し翌日午前四時過ぎに之を終りたり記者は投票の結果を知らん爲め同夜九時半頃撰擧會場たる民團役所に至り其模樣を見たが掛長は東方の正面に嚴然として控へ其傍に監視として長野理事廳屬が控へて居る其南に一列に立會人たる鮎貝大專、阿川、佐々等の四氏が北面して構へて居る役所書記は中央と其南側に卓子を置き林田會計役が讀み上る當選者の票數を記入しつゝあり其西方には各新聞記者や候補者や運動員らしきが多數詰め掛けて一々票數を記しつゝ一喜一憂の顏色を晒して居る場内は巡査四名にて嚴重に警戒してゐるので候補者の票を讀み上る聲と之を受る聲とのみにて他に喋ぶき一つしない實に靜寂たること、であつたが掛りの諸氏は午前の七時から僅かの休憩のみにて十數時間も撰擧事務に鞅掌せられたことて充分疲勞せられたと見へ何れも眼ばかりパチクリさせ如何にも眠たそうな面付きであつた宵の中は早く自分につけて撰擧した候補者の結果を聞かんとて會場に入らんとせしもの甚だ多かりしも巡査は門を鎖ぢて一切入れなかつたので十一時頃は二三の人が門前にて狀況を窺つて居たのみであつた時間は遠慮なくも進むも票數の計算は仲々捗らぬ記者も撰擧人の一人だから自分の選擧した候補者の結果でも見んと眼いのを我慢して控へて居たが漸く三百五十何點といふ聲を聞いたので之れなら大丈夫當選疑ひなしと安心し翌日の二時半場を出て歸途に就たときは鷄鳴が處々の家々から曉を促しつゝあつた併しながら撰擧者の多數は未だ其結果を待つて居たが此の知盛況を極めた選擧は韓國開闢未曾有のことで記者は居留民諸氏が撰擧に對する思想の發達したのを喜ぶのである尚は當夜讃み上げられたる被撰者の中に伊藤博文といふがれなる手紙は李が今朝自分に宛て寄越した脅迫の證據なれば怪中より一通の手紙を取り出して示すに夕警察にては打ち捨て置けず早速犯人逮捕の係を極めて注意し居ること、であつたが、此の儀細田樣に御報ひも致さず終るやうでは、と、うれやこいやが原因でこんな病氣に取りつかれたのだとね、あの凉しい眼元に涙を浮べての物語りなんですものの、妾は、自分が滿足な生活を送つて居るにつけても、吾が友はなせ斯も逆境に沈淪して居らるゝのだらうと思はれてね、本統に恐しくつて泣きましたわ。」

「それは、一つ學校で育つた其許としては道理じや、實際私でさへも、同情に堪ねんのだからな。」

村田は、細田の顏を打ち眺めて居たが

「細田君い、君はそうは思はんか、薄命の女子が生涯に、同情の涙をもたんか、況けては相互に戀ひ慕つたと云ふ仲ぢやないかなア」

さなきだに、忽ち感ゆるは細田の血管である村田の此の一言は、其の默せる細田の胸裡に、少なからず、鼓動の波を昂からしめたのである。

「本統ですわね細田淡、藤枝さんの運命は、皆んな貴郎が握つて被爲居るんですよ」

雪子は、夫のあとについて、斯ふ言つたが夫は暗に細田に答を促したのであつた、ただ

○土耳古金口煙草GD インペリアル 茶褐色スポルト 各種 京城代理店 歐米雜貨商 京城本町六丁目 ㊟ 岡野商店 電話(五七一番)

●砂金礦夫の强姦

長崎縣士族竿田民助（三九）は京畿道北面越境し砂金採收事務所の礦夫として同事務所に在勤中近隣に住居する金景浩の妻朴女（三〇）を見染めたるも夫ある身なれば如何ともし難く如何かして思ひを遂げんと苦心しつゝある中六月九日午前二時頃暴力を以ても思ひを遂げんと決心し民助は銃を携へて景浩の家に侵入して就寢し居れる景浩を其盡尻を以て身動きも出來ざるまでに毆打したる上之を砂金事務所に擔ぎ行き裏手の柱に縛しつつ其足にて再び景浩の家に至り銃聲にて朴女を衝し倒し朴の拒むにも關せず遂に獸慾を遂げたるを以て直ちに捕縛せられ南部警察署に於て取調べ中なりしが一昨日理事廳裁判にて重禁錮二年に處せられたりと云ふ

●開けて見て吃驚

西部長興洞百十二統前讀官裴興鍾なるもの去る四日西部警察署に出頭し訴へ出づるやう自分は近頃李斗模（三十）なるもの、脅迫を受け困却中なるが其の脅迫といふは李が過日來より屢々自分方に來り百圓の金を都合し呉るゝやうも し都合出來ざる時は火を放つて家屋財產を焼き拂ふべしとの恐嚇の言葉を並べ立ての富治は一策を弄し該價券に充當すべき物品なりと得ものと本月初め自分は明治町より七十六圓ゐる德の使者なりと稱し同店より七十六圓の自轉車一輛を騙取なしたる者なるが一昨日詐僞取出犯として輕罪公判に附せらるる

●奏樂堂落成式延期

京城樂友會に於て南山公園に建設したる奏樂堂落成式は既記の通り本月十二日午後二時より同公園に於て擧行の處同會式場準備の都合等に依り同月十七日（同日雨天なれば十八日）に延期したる由

●龍山本願寺の說敎

龍山西本願寺に於ては本日午後七時三十分より嚴開敎師の說敎あり

●本願寺說敎

今日は土曜日に付き午後七時半より說敎あり

●小火

八日午後四時四十分頃西部盤石坊冶洞襤褸與錄方より小火を發せしも直ちに消し止めたるが原因はストーブの火が例に依り屋根の藁に燃へ移りたるより起りしものなりといふ

●出獄後直ち苟盜す

八日午前十一時頃西部銅峴廣洞遊を所轄巡査が巡回中拆柄同洞三十三統一戶金東玉方の廊下に一人の曲者らしきもの忍び入り恰もあたりの魚を物色し如何にも怪しきより巡査は許りに早速踏み込んで引つ捕へ本署に引致せしが此の曲者は豫て窃盜犯にて京城監獄署に因はれ居り當日午前十時刑期滿ちて漸く出獄したる旧成俊（二）といふ厄介者と判りたる由

●自轉車歎取の公判

福岡縣築上郡横武村平民本町一丁目七十三番地代書業恒遠富治（三九）は本町六丁目料理店花屋事飯田花より南大門通り二丁目巴商會店員豐田芳年に對する同人の遊興費七十六圓四十錢の取立方を依頼され再三再四其催促を試みたるも一向應ずべき樣もなく如何はしきよりの富治は一策を弄し該價券に充當すべき物品なりと得ものと本月初め自分は明治町より七十六圓ゐる德の使者なりと稱し同店より七十六圓の自轉車一輛を騙取なしたる者なるが一昨日詐僞取出犯として輕罪公判に附せらる

廣告

毎日種痘 南山町二丁目 植村病院 電話三三〇番

同定敎科書販賣人の指定

國定敎科書販賣規程により昨日迄に學部が指定したる販賣人の居所氏名は左の如し

京城北部小安洞 大韓書林 淮東書館 高裕雲 復興相
同 南部大廣橋 日韓書房 同 本町二丁目 森山英夫 豫
平安南道三和港億南機 博物書館 盧伯麟 橫
釜山港大廳町 吉田市太郎 趙承鉉
京城中部鐘路 大東書市 廣學書舗 金基鉉 金相榮
同 同龍橋 中央書館 朱翰車 宗鎬
平安南道平壤郡隆德面桑洞 李昇薰
平安南道平壤郡隆德面西里 大極書館

京城樂友會

○金參圓毎に福引券進呈 ○本日より十一月三日迄

冬物大賣出し 京城本町 亀屋 電話(四七一番 八二七五)

○景品は壹等 金貳百圓(公債證書) 以下數千等(壹本もから くじなし)

新製品 蓮卷 廣江商會 電五七六番

漢城病院ヲ辭シ 本町二丁目四番戶 元岩田寫眞館跡ニテ耳鼻咽喉科眼科外科花柳病ノ診療ヲナス 診療毎日自午前八時至夕 入院隨意赤貧者ハ施療ス 元漢城病院耳鼻咽喉科眼科主任 從七位 醫學得業士 中村健吉

子宮病血の道 さんぜん座後 のりよう やく

○梅毒產科 ○內外科 ○眼科 ○婦人科 ○小兒科 ○入院隨意 ○診療叮寧 吉田病院 南山町三丁目

洋種純良牛乳 電話七五三番 南城井門外牧場

御下宿開業 西大館 中川良夫 西大門外停車場前通

茶 宇治銘茶 薄茶 紅茶コーヒー 吉 開春園 京城旭町二丁目

土地家屋 人事物件 金錢貸借 東屋 南大門通二丁目十三番戶 屬人口入業

京城本町六丁目 郵便局前 たゝら出張所

種痘

診療に從事す 理事廳前角 統監府通信管理局 通信管理局 池田季雄 池田內科小兒科醫院

天氣豫報

（自九日午後六時 至十日午後六時）

九日午前六時各地氣象概況

高氣壓は支那黃海にありて北又は西の風吹き概ね晴天なり

西の風曇

▲小女の海老茶式部は甚だ優なるが尻のデッカイ二〇三高的には極めて不合格で其默恰も駱駝のランプラ（半可通）▲菊陽さん貴女明日山遊をなさるの（華族娘）▲道路に小砂を入れたのは惡いと思ふ蓋し風强く吹けば散ればかり（小僧）▲京城には浪花節は來ません嫌だが江戸ッ子諸子は運動して如何（入來生）▲當選した議員さんの中で嬉しくつて泣いた方があるそうです（東京下女）▲鯉の刺身が喰ひて一ナこつちとら下女）▲南大門の入口の柱に電燈が點かるだらうがアノ柱を石に賴みて一ナ（蒸氣ローラー）▲京城に色氣のない料理屋が出來さうなもいだな（喰道樂の者は實際遣り切れネ（喰道樂）

新講談

女侠秋瑾の傳（九）

「御身は徐錫麟と手紙の遣り取りをして居つたことはないか。」

「何んのね尋ねかと思ひましたら、その事でございますか……ハイ、餘程以前のことでございました、徐君と上海で一度面會致したことがございましたが、その後絶えて面會したことはございません、然う云ふ譯で通信などは未だ一回も致したことはございません……後にも先にも面會したのはその時一度でございます。」

「御身は小銃六百挺を所持して居るさうだが、それは爺何所に秘匿してあるのか。秋瑾は色を作して而して少しく聲を勵まして。

「妾は然んなものは所持して居りません、それは何かのね間違ひでせう。」

此の時貴知府は少しく語調を荒くして。

「御身は小銃六百挺を所持して居るさうだが、然う云ふ譯で通信などは未だ一回も致したことはございません……後にも先にも面會したのはその時一度でございます。」

「爺ら秋瑾の性行を見まするに、何うも尋常一様の女ではございません、御身へなまつても分ることです、誠もろきは女の常性であるに、心強くも所天と絶ち、同胞を絶ち、人間一切の幸福を犧牲として迄も、敢あやつて居る處ろを見ますれば、心に何か期する處ろがなくては叶はぬ、疑に秋瑾は女でこそあれ鬚眉の男兒をも後へに瞠若たらしむる傑物、これは何うでも革命黨員と認定なさるより外致し方はございますまい。」

貴知府は此の言葉に動かされた、殊に「罪の疑はしきは罰する」此の場合の方針であるから、再び秋瑾を呼び立て來つて或は聲を勵まし、又は辭を温にしろ〳〵と訊問を遂げたがナカ〳〵に白狀せず依つて一先牢獄に投ずることゝしました。

秋瑾冷やかに笑ひながら。

「時を識り、世を諷するは文人の習ひ、別に妾に拘まつたことではありません。」

云ふことは頗る簡單であつたが、その意味には針がある。貴知府は一旦秋瑾を法廷から去らしめて、沈思うの罪狀を稽へて居ると、横側ながら口を出したは立資の標統李益謙である。

「爺ら秋瑾の性行を見まするに、何うも尋常一様の女ではございません、御身へなまつても分ることです、誠もろきは女の常性であるに、心強くも所天と絶ち、同胞を絶ち、人間一切の幸福を犧牲として迄も、敢あやつて居る處ろを見ますれば、心に何か期する處ろがなくては叶はぬ、疑に秋瑾は女でこそあれ鬚眉の男兒をも後へに瞠若たらしむる傑物、これは何うでも革命黨員と認定なさるより外致し方はございますまい。」

貴知府は此の言葉に動かされた、殊に「罪の疑はしきは罰する」此の場合の方針であるから、再び秋瑾を呼び立て來つて或は聲を勵まし、又は辭を温にしろ〳〵と訊問を遂げたがナカ〳〵に白狀せず依つて一先牢獄に投ずることゝしました。

廣告

水道水引用
朝湯開始
但朝湯七時より始め午後十一時半終ひ
大和町一丁目
浪花湯

改名廣告
自分儀平田家ヲ相續致シ明治亡善太郎名儀ヲ繼承　從前之通リ營業仕候間倍々一層御引立ヲ蒙リ度此段謹告仕候也
京城本町三丁目第十七番戸
平田房吉事　平田善太郎
電話二五番

諸官省御用達
營業科目
和洋雜貨
測量機械一式
製圖道具一切
高等文房具
和洋紙帳簿一切

美味にして滋養に富める
好飲料
金銀賞牌　二十四回
蜂印香竄葡萄酒
東京　近藤利兵衛

亀屋の部
西洋酒食料品
電話八二七番

京城本町壹丁目
シノサキ商店
電話四五五番
營業品目
▲和洋雜貨類▼
○和洋文房具卸小賣
○測量製圖器械尺度類
○最新式眞筆寫版發賣元
▲諸官衙用達▼

黒料　無煙炭　特色　用途
火付善く火力耐久價格低廉
藻鑪、暖爐、竈用に適す
周防德山海軍省煉炭所東隣
谷口無煙煉炭工場
韓國一手販賣
京城太平町二丁目
神田組

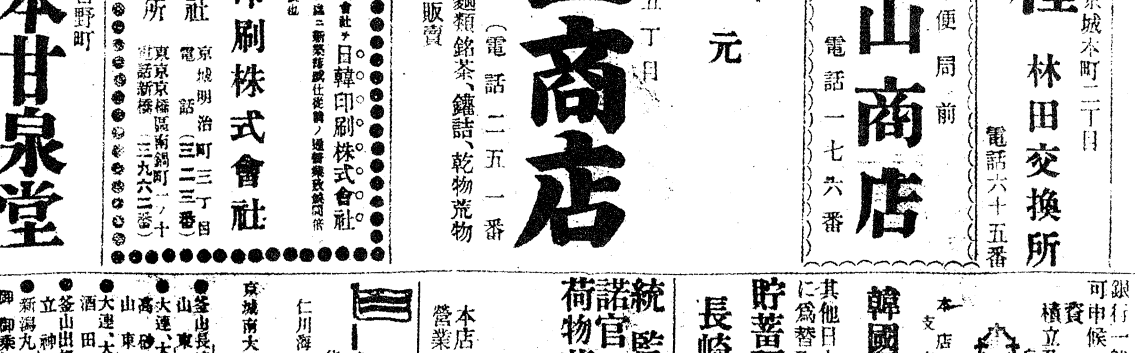
高等會席料理
開業御披露
さやけき月の宿る露、けふ此頃の麗はしき花野ならねど本日より京城本町六丁目有明樓支店跡に花々敷開業仕候て料理萬端注意を加へ一大奮發を以御愛顧に叶ふ樣勉強可仕候間御贔屓の程奉願上候
京城本町六丁目（有明樓支店跡）
會席料理　西洋　御料理
福館

高等
御下宿
澤田館
南山町一丁目
魅切と叮嚀とを旨とし調理方にも萬端注意して御扱申候間一層御愛顧の程奉希上候

氷販賣店
南大門通二丁目（電話一六四番）
羽多野松太郎

朝鮮人蔘湯効能
一子宮諸病、一神經衰弱、一腸胃病、一下痢症、一リウマチス病、一病後の衰弱、一貧血病、一冷症、一産後、一前後引等、一血の道、一風癲、一癇氣、其他萬病に宜し
過て幣店氷販賣所は明治四十年一月十日にて營業致居候處今回都合に依り南大門通一丁目に移轉致候間御愛顧の程奉希上候
氷販賣店
南大門通二丁目（電話一六四番）
羽多野松太郎

南門湯
電話一六四番
南大門通二丁目
朝鮮人蔘湯効能
今般楷手に更に家屋を建築致し漸く落成仕候に付漢城製藥所長秋冷之候各位愈御清勝奉慶賀候偖鄙湯日尚ほ淺きにも不拘御華客諸方の御引立に依り益繁昌仕り候段奉深謝候就ては今回平素の御愛顧に酬ひん爲め内部の大改築を施し浴場は固より湯槽を廣め万事清潔な旨と且つ用水は水道以上の良水なる事は各位の御承知に候得者舊に倍し陸續御入浴あらん事を奉願候敬具
人蔘藥湯開始
渡邊藥劑師の配合に係る有名の朝鮮人蔘藥湯を本日より開始致候に付ては浴場は勿論湯槽に至る迄廣く清潔なるは申に及ばず藥湯の効能は左に略記致候間御試み旁御來湯の程奉希上候
明治四十一年十月
南大門通二丁目
電話一六四番
南門湯



營業科目
活版活字鑄造
石版銅版
木版彫刻
コロタイプ版
寫眞版
罫帳簿
製本裝釘
今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ左記ノ通ニ新築落成仕從前ノ通營業致候間從來御愛顧之程奉願上候也
日韓印刷株式會社
本社　京城明治町三丁目（電話三二三番）
東京出張所　東京麻布南鍋町一ノ十（電話新橋三九六二番）

軍用
萬歳豆
八ツ橋
ビスケット
賢來豆
一ケ月八圓の下宿
京城南大門外吉野町
塚本甘泉堂

薫
大
特約販賣
自製
醬味噌
漬物
油製造元
大上商店
京城本町五丁目
（電話二五一番）
和洋酒、精酒、穀物麵類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール特約販賣

太物洋反綿類蒲團
京城郵便局前
秋山商店
電話一七六番

上等石炭各種
京城本町二丁目
林田交換所
並に無煙炭販賣
電話六十五番

純良
乳
元牛乳祖
京城太平町一丁目
平山牧場
電話百三十三番

新築落成入院隨意
明治町壹丁目本町座前
眼科
內科
外科
松岡醫院
電話六七五番

直輸入外國莫御披露
トルコ紙卷
エジプト紙卷
ハバナ葉卷
マニラ葉卷
其他パイプ、ケース、等附屬品一切
右新荷物到着に付此際特別廉價を以て大勉強販賣可致候間御試驗の上御用向の程願上候
京城本町一丁目
トルコ煙草日希商會
TURKEN HANGO.

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金參百萬圓
積立及繰越金八拾萬圓
京城南大門通
株式會社十八銀行
（電話四二〇）
本店　長崎市樂町
支店　出張所
韓國　京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、鮮山
日本　大阪、熊本、佐世保、鹿兒島、五島、唐津
其他日本、韓國樞要地及露領浦潮に爲替取引先あり
貯蓄預金
一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日步壹錢四厘）
長崎貯蓄銀行代理店
（十八銀行京城支店）

統監府御用
諸官衙人力車
荷物荷造及運搬
伊藤組
本店　京城曙町（電話七三番）
營業　同本町三丁目（電話四〇番）

日本郵船株式會社
電話十番
瀬船仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通　郡回漕會
京城南大門通　巴商會
電話三〇九番

●釜山長崎門司神戸行
山東丸　月　日　後二時發
●大連、大沽、牛莊行
高砂丸　月　日
山東丸　十月十三日　後五時發
●大連、大沽、牛莊行
酒田丸　十月十五日　後一時出
●釜山出帆、元山灣津、浦鹽行
立神丸　月　日
●新潟丸　十月日正午　大連行
御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候
注意　船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事
●新聞料　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金壹錢▲三ヶ月前金貳錢▲六ヶ月前金貳錢▲郵稅一ヶ月金
●郵送料　▲一枚金一錢▲一ヶ月前金壹錢▲三ヶ月前金貳錢▲六ヶ月前金貳錢▲郵稅一ヶ月金
●廣告料　一行金十九字詰一行一回四十錢▲一行金五十錢
發行兼編輯人　秋山忠三郎
印刷人　高木久馬
發行所　東京麻布區南鍋町一ノ十
電話新橋三九六二番
新聞社